

- 田文仁, 長島克弘, 泉 直也, 前田健康, 山田好秋
新潟大学歯学部における総合模型実習の試み。第
23 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 新潟,
2004 年 7 月 2 日
- 23) 加藤一誠, 興地隆史, 樋浦健二, 小林哲夫, 石崎裕子,
魚島勝美, 宮崎秀夫, 山田好秋: 臨床実習教育支援
のための患者管理システムの開発。第 23 回日本
歯科医学教育学会総会, 新潟, 2004 年 7 月 2 日, 2004 年。
- 24) 中舘正芳, 網塚憲生, 魚島勝美, 田口裕哉, 那須真
樹子, 前田健康, 野村修一: チタンインプラント
と -TCP 系自己硬化型補填材の界面領域における
組織化学的検索。第 46 回歯科基礎医学会学術大会,
広島, 2004 年 9 月 24 日
- 25) 小林哲夫, 高内綾乃, 早川光央, 柴田恭子, 安孫子
宜光, 吉江弘正: Bispecific 抗体による歯周炎免疫
療法の開発 2. オブソニン活性の評価。第 47 回秋
季日本歯周病学会学術大会, 仙台, 2004 年 10 月 15
日, 日本歯周病学会誌 第 46 巻秋季特別号 p.154,
2004.
- 26) 金子 進, 小林哲夫, 早川光央, 安孫子宜光, 吉
江弘正: 歯周炎患者における *Porphyromonas*
gingivalis 200kDa 特異抗原に対する免疫応答。第
47 回秋季日本歯周病学会学術大会, 仙台, 2004 年
10 月 15 日, 日本歯周病学会誌 第 46 巻秋季特別
号 p.153, 2004.
- 27) 天沼亮子, 中島貴子, 植木 - 丸山 薫, 吉江弘正,
山崎和久: 歯周炎歯肉組織における CD1 陽性細胞
と natural killer T 細胞の免疫組織学的解析。第 47
回日本歯周病学会秋季学術大会, 仙台, 2004 年 10
月 15 日, 日本歯周病学会誌 第 47 巻秋季特別号
96 頁, 2004 年
- 28) 小田太郎, 中島貴子, 伊藤晴江, 植木 - 丸山 薫,
本田朋之, 天沼亮子, 安住知彦, 小田弘隆, 相澤義房,
吉江弘正, 山崎和久: 冠動脈硬化症患者における動
脈硬化症 / 歯周病関連マーカーの検討。第 47 回日
本歯周病学会秋季学術大会, 仙台, 2004 年 10 月 15
日, 日本歯周病学会誌 第 47 巻秋季特別号, 150
頁, 2004 年
- 29) 清水寿男, 小林哲夫, 吉江弘正: クロールヘキシジ
ンポケット内投与による臨床及び細菌学的変化。平
成 16 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2004 年 11
月 13 日。
- 30) 高内綾乃, 小林哲夫, 吉江弘正: 歯周病原菌に対
するトランスクロモ Maus 由来ヒト特異抗体の有
効性。平成 16 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟,
2004 年 11 月 13 日。
- 31) 喜多美知子, 中島貴子, 山崎和久, 吉江弘正: 有病
高齢者における PMTC が歯周組織及び唾液, 血清
成分に与える影響。平成 16 年度新潟歯学会第 2 回
例会, 新潟, 2004 年 11 月 13 日。
- 32) 清水寿男, 小林哲夫, 吉江弘正: クロールヘキシジ
ンポケット内投与による臨床及び細菌学的変化。日
本歯科保存学会 2004 年度秋季学会 (第 121 回), 長
崎, 2004 年 11 月 19 日, 日本歯科保存学雑誌 第 47
巻秋季特別号 p.221, 2004.
- 33) 中島貴子, 小田太郎, 天沼亮子, 植木 - 丸山 薫,
伊藤晴江, 本田朋之, 吉江弘正, 山崎和久: 慢性炎
症性歯周疾患で認められる B 細胞ケモカインの発
現と濾胞樹状細胞の浸潤。第 34 回日本免疫学会総
会学術集会, 札幌, 2004 年 12 月 1 日, 2004 日本免
疫学会総会・学術集会記録, 第 34 巻, 36 頁, 2004 年。

【その他】

- 1) 渡邊清志: 功労賞受賞, 全国歯科技工士教育協議会,
2004 年 5 月
- 2) 石崎裕子, 興地隆史, 福島正義, 小林哲夫, 魚島勝
美: 平成 15 年度臨床研修医症例報告集第 4 号。新
潟大学歯学部附属病院, 新潟, 2004 年 8 月
- 3) Nakajima T. Periodontal Infection and
Atherosclerosis. at Kathleen B and Mason I
Lowance Center for Human Immunology, Emory
University School of Medicine, Atlanta, USA.
March 7, 2005.

特殊歯科総合治療部

【論文】

- 1) Kinoshita S, Tomizawa M, Noda T: Congenitally
missing lower primary canine, anomalous lower
primary first molar and impacted supernumerary
premolar in one dental arch: Case report. *Ped
Dent J*, 14(1): 135-140, 2004.
- 2) Kinoshita-Kawano S, Kawano S, Noda T, Maeda
T: Immunolocalization of corticosteroid hormone
receptor in the mechanoreceptors in rat oral
tissues. *Biomedical Research*, 25 (1): 35-43, 2004.
- 3) Tomizawa M, Otsuka Y, Noda, T: Clinical
observations of odontomas in Japanese children:
39 cases including one recurrent case. *Int. J.
Paediatr. Dent*, 15: 37-43, 2005.
- 4) Taguchi Y, Kobayashi H, Noda T: A diagnostic
proposal to support early treatment of ectopically
erupting maxillary canines. *Ped Dent J*, 15: 52-57,
2005.
- 5) Otsuka Y, Matsuyama J, Iwano F, Tomizawa M,
Noda T: Chronic benign neutropenia diagnosed
due to severe stomatitis: a case report. *Ped Dent*

- J, 15: 134-138, 2005.
- 6) Ohshima H, Nakasone N, Hashimoto E, Sakai H, Nakakura-Ohshima K, Harada H: The eternal tooth germ is formed at the apical end of continuously growing teeth. Arch Oral Biol 50: 153-157, 2005.
 - 7) Mitomi T, Tomizawa M, Noda T: Tooth development included in the multifocal jaw lesions of Langerhans cell histiocytosis: a case report. Int J Paediatr Dent, 2005, in press.
 - 8) Fukushima S, Shingai T, Takahashi Y, Taguchi Y, Noda T, Yamada Y: Genesis of the decrement of intraluminal pressure in the UES during swallowing in rabbits. Brain Res, 2005, in press.
 - 9) Hayashi-Sakai S, Taguchi Y, Noda T: Failure of tooth eruption involving a mandibular primary first molar: a case report. J Dent Child, 2005, in press.
 - 10) Gramaticescu CE, Terada K, Ishii K, Watanabe N, Ono K, Morita S, Hanada K: Three-dimensional evaluation of mid-facial development in unilateral cleft lip and palate patients, Orthodontic Waves, 63: 40-47, 2004.
 - 11) Chen F, Terada K, Hanada K: A New Method of Prediction Mandibular Length Increment on the Basis of Cervical Vertebrae, Angle Orthodontist, 74: 630-634, 2004.
 - 12) 住吉智子, 佐野富子, 田邊義浩, 野田 忠: 小児の歯科恐怖に関する研究 - 切削音と歯科恐怖との関係 - . 小児歯誌, 42: 680-687, 2004.
 - 13) 加納浩之, 小林正治, 本間克彦, 寺田員人, 齊藤 力: 非接触型三次元表面形状計測装置による上下顎移動術前後における中顔面軟組織形態の変化の検討, 日本顎変形症学会雑誌, 14: 1-10, 2004.
 - 14) 寺田員人, 中川公貴, 山崎幸一, Jabbar Shahiqul, 陳 鳳山, 花田晃治, 宮永美知代: 非接触型三次元表面形状計測装置を用いた顔面部の計測について, 日本顔学会誌, 4: 57-65, 2004.

【著書】

- 1) 野田 忠: 「おっぱい」から「食べる」へ、そして長い「食」人生(野田 忠, 田口 洋編). ブックレット新潟大学31 『食べる』成育編, 4 - 5頁, 新潟日報事業社, 新潟, 2004.
- 2) 野田 忠: 子どもの「食べる」((野田 忠, 田口 洋編). ブックレット新潟大学31 『食べる』成育編, 70頁, 新潟日報事業社, 新潟, 2004.
- 3) 寺田員人, 花田晃治: 医療の一部となりうるリハビリ

リメイク - 口唇裂口蓋裂の患者さんの社会復帰の観点から - (田上順次, かづきれいこ編). デンタル・メディカルスタッフのためのリハビリメイク入門, 58-67頁, 医歯薬出版, 東京, 2004.

【商業誌・その他】

- 1) 野田 忠: 咀嚼の発達, 小児歯科臨床, 10(2): 65-71, 2005.
- 2) 野田 忠: 萌出障害とその対応, 小児歯科臨床, 10(3): 53-63, 2005.
- 3) 野田 忠: 歯科治療に対する小児患者の反応と対応, 小児歯科臨床, 10(4): 印刷中, 2005.
- 4) 寺田員人: Expansion screw と corticotomy を併用した側方拡大法, 日本臨床矯正歯科医学会雑誌, 16: 15-17, 2004.

【研究成果報告書】

- 1) 大島邦子, 大島勇人, 原田英光: 移植・再植後の歯髄再生過程における組織幹細胞の局在と細胞動態. 平成16年度科学研究費補助金実績報告書, 基盤研究(C)(2) 課題番号 15592159, 2005年.
- 2) 松山順子, 富沢美恵子, 佐藤拓一, 高橋信博, 野田忠: 小児の成長発育に伴う口腔細菌叢の変動に関する研究. 平成16年度科学研究費補助金実績報告書, 基盤研究(C)(2), 課題番号 14571944, 2005年.
- 3) 高橋信博, 真柳秀昭, 野田 忠, 畑 眞二, 佐藤拓一, 松山順子, 中條和子: DNAチップを用いた口腔微生物叢プロファイリングによる小児の口腔疾患リスク評価. 平成16年度科学研究費補助金実績報告書, 基盤研究(B)(2), 課題番号 16390601, 2005年.
- 4) 荒井良明: 顎関節のあそびと顎関節内障との関係. 平成16年度日本学術振興会研究費補助金研究 若手研究B(継続), 課題番号 15791121, 2005年.
- 5) 寺田員人, 七里佳代, 森島繁生, 宮永美知代: 外科的矯正治療による心理・精神面と表情との変化の関連性に関する研究. 平成16年度科学研究費補助金実績報告書, 基盤研究(C)(2), 課題番号 16592042, 2005年.
- 6) 櫻井直樹, 河野正司, 林 孝文, 寺田員人, 鈴木一郎, 小林 博, 星名秀行, 八木 稔: 情報の暗号化を伴うネットワークを活用した顎関節症患者の遠隔診断支援 システム構築. 平成16年度科学研究費補助金実績報告書, 萌芽研究, 課題番号 15659462, 2005年.

【講演・シンポジウム】

- 1) Taguchi Y, Kobayashi H, Tomizawa M, Noda T: Eruption disturbances treated at Pediatric Dental Clinic of Niigata University Medical and Dental

- hospital. The 11th International Symposium of the Japan-Russia Medical Exchange, Niigata, Japan, 2004.8.10, Program and Abstract, 48, 2004.
- 2) Taguchi Y, Kobayashi H, Noda T: Eruption disturbances of maxillary second premolars related to late development of the germs. The 11th International Symposium of the Japan-Russia Medical Exchange, Niigata, Japan, 2004.8.10-11, Program and Abstract, 113, 2004.
- 3) 寺田員人, 齋藤 功, 朝日藤寿一, 山崎幸一: Standard Edgewise 法の講義と Typodont 実習による臨床技術指導(田中国際交流事業振興資金, 協定締結大学への本学教官の派遣事業助成による), 中国吉林大学口腔医学院, 講演と実技指導, 2004年10月14~16日, 同済大学口腔医学院, 講演, 2004年10月18日.
- 【学会発表】
- 1) Ohshima H, Nakasone N, Hashimoto E, Nakakura-Ohshima K, Harada H: The eternal tooth germ is formed at the apical end of continuously growing teeth. VIIIth International Conference on Tooth Morphogenesis and Differentiation, York, UK, 2004. 7. 17-21 Abstract, P. 99, 2004.
- 2) Taguchi Y, Kobayashi H, Watanabe J, Noda T: The ectopic eruption of maxillary canines in Japanese. The 4th Conference of Pediatric Dentistry Association of Asia and TSPD Annual Meeting 2004, Bangkok, Thailand, 2004. 9. 23, Program and Abstract, P.111, 2004.
- 3) Sano T, Taguchi Y, Noda T: Alpha-mannosidosis: A case report. The 4th Conference of Pediatric Dentistry Association of Asia and TSPD Annual Meeting 2004, Bangkok, Thailand, 2004. 9. 23, Program and Abstract, P.115, 2004.
- 4) Hayashi-Sakai S, Taguchi Y, Noda T: Impaction of mandibular primary first molar: A case report. The 4th Conference of Pediatric Dentistry Association of Asia and TSPD Annual Meeting 2004, Bangkok, Thailand, 2004. 9. 23, Program and Abstract, P.120, 2004.
- 5) 住吉智子, 田邊義浩, 佐野富子, 野田 忠: 小児の歯科恐怖の要因分析 - 切削音(タービン音)の印象 - . 平成16年度新潟歯学会総会, 新潟, 2004年4月24日, 新潟歯学会誌, 34(1), 74頁, 2004年.
- 6) 松山順子, 高橋信博, 野田 忠: 小児口腔内からのミュータンスレンサ球菌のPCR法による検出について. 第42回日本小児歯科学会大会および総会, 福岡, 2004年5月21日, 小児歯誌, 42(2): 210頁, 2004年.
- 7) 住吉智子, 田邊義浩, 佐野富子, 野田 忠: 小児の歯科恐怖に関する研究 - 切削音に対する印象 - . 第42回日本小児歯科学会大会および総会, 福岡, 2004年5月21日, 小児歯誌, 42(2), 288頁, 2004年.
- 8) 川岸恵理子, 楯 泰昌, 大島邦子, 野村修一, 大島勇人: 高齢ラット臼歯窩洞形成後の歯髄におけるストレスタンパク質 HSP-25 発現と抗原提示細胞の動態について. 第46回歯科基礎医学会学術大会・総会, 広島, 2004年9月23-25日, 歯基礎誌, 46(5), 403頁, 2004年.
- 9) 小林千里, 福島伸一, 田口 洋, 野田 忠: 復元学校給食による咀嚼実験 - 副食の違いによる咀嚼への影響 - . 第22回日本小児歯科学会北日本地方大会および総会, 札幌, 2004年10月2日, プログラムおよび抄録集, 26頁, 2004年.
- 10) 梶井友佳, 福島伸一, 木島 寛, 小林博昭, 田口 洋, 野田 忠: 味覚・嚥下の発達とメカニズムの解明. 第20回日本歯科医学会総会, 横浜, 2004年10月29-31日, プログラム・事前抄録集, 110頁, 2004年.
- 11) 小林千里, 福島伸一, 田口 洋, 野田 忠: 復元学校給食による咀嚼実験. 平成16年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2004年11月13日, プログラム, 30頁, 2004年.
- 12) 木島 寛, 真貝富夫, 田口 洋, 野田 忠: 咽頭刺激による嚥下反射中枢機構における NMDA-NO 経路の重要性. 第28回日本嚥下医学会, 浜松, 2005年2月5日, プログラム・抄録集, 40頁, 2005年.
- 13) 福島伸一, 真貝富夫, 田口 洋, 野田 忠: ウサギ嚥下時の咽頭食道接合部の内圧低下に関わる神経調節機構. 第28回日本嚥下医学会, 浜松, 2005年2月5日, プログラム・抄録集, 42頁, 2005年.
- 14) 山崎幸一, 寺田員人, 中村順一, 稲見佳大, 中川公貴, 川原のぞみ, 森田修一, 花田晃治, 齊藤 力, 高木律男, 林 孝文: 顎矯正手術による硬組織変化に対する軟組織変化の三次元分析, 第14回日本顎変形症学会総会, 福岡, 2004年5月25-26日, 日顎変形症誌, 14(2), 249頁, 2004年.
- 15) 荒井良明, 寺田員人, 高木律男, 西山秀昌, 山田一尋, 高田佳之, 小野由紀子, 安島久雄, 桜井直樹, 井伊直子: 本院における10年間(1994-2003)の顎関節症治療の臨床統計学的検討, 第17回日本顎関節学会総会・学術大会, 新潟, 2004年7月4-5日, 日顎誌, 17(1), 84頁, 2005年.
- 16) 櫻井直樹, 河野正司, 林 孝文, 野村修一, 寺田員人, 荒井良明, 鈴木一郎, 星名秀行, 山田一尋, 松崎正樹: 顎関節症遠隔診断支援システム構築のための予備的

- 調査,第17回日本顎関節学会総会・学術大会,新潟,2004年7月4-5日,日顎誌,17(1),86頁,2005年.
- 17) 山崎幸一,寺田員人,中村順一,稲見佳大,川原のぞみ,森田修一,齊藤 力,高木律男,林 孝文,花田晃治: 偏位を伴う骨格性下顎前突患者における顎矯正手術による硬組織変化に対する軟組織変化の三次元分析,平成16年度新潟歯学会第1回例会,新潟,2004年7月10日,新潟歯学会誌,34(2),273頁,2005年.
- 18) 内田嘉寿子,寺田員人,朝日藤寿一,森田修一,花田晃治: リハビリメイクの精神心理学的効果についての研究,平成16年度新潟歯学会第1回例会,新潟,2004年7月10日,新潟歯学会誌,34(2),274頁,2005年.
- 19) 枝並和男,松原大樹,山崎幸一,齋藤 功,寺田員人: 骨格性下顎前突症患者における anterior-ratio について,平成16年度新潟歯学会第2回例会,新潟,2004年11月13日,新潟歯学会誌,34(2),293頁,2005年.
- 園講演会,新潟,2005年2月10日.
- 9) 野田 忠: 食べるの科学.平成16年度新潟大学模擬授業「キミも新大生!」,新潟,2004年8月8日.
- 10) 野田 忠: 食べるの科学.三条高校総合学習「大学教授講話」,三条,2004年12月3日.
- 11) 寺田員人: 笑顔と歯の不思議な関係.新潟高校82期・卒業30周年記念同期会・恩返し講演,新潟,2004年5月2日.
- 12) 寺田員人: 笑顔と歯のふしぎな関係.平成16年度新潟大学歯学部公開講座,「白い歯,ピンクの歯肉,すてきな笑顔」,新潟,2004年9月17日.
- 13) 寺田員人: 外科的矯正治療のチームアプローチについて.平成16年度歯科臨床研修医セミナー,新潟,2004年7月7日.
- 14) 大島邦子: 自閉症患者の歯科治療.平成16年度歯科臨床研修医セミナー,新潟,2004年10月13日.
- 15) 荒井良明: 顎関節症治療の基礎知識.平成16年度歯科臨床研修医公開セミナー,新潟,2005年2月26日.
- 16) 荒井良明: 顎関節症の発症メカニズムとその対応.ジーシーデンタルカレッジ,東京,2005年2月8日.

【研究会発表】

- 1) 木下承子,田口 洋,野田 忠: 歯の完全脱臼と予防方法について - アンケートによる意識調査 -. 新潟県小児保健研究会,新潟,2004年9月10日.

【その他】

- 1) 野田 忠: 食べるの科学.平成16年度全学共通科目「食べる - そのメカニズム -」,新潟,2004年4月9日.
- 2) 野田 忠: おっぱいを飲む.平成16年度全学共通科目「食べる - そのメカニズム -」,新潟,2004年4月16日.
- 3) 野田 忠: 「食べる」まとめ.平成16年度全学共通科目「食べるⅠ - そのメカニズム -」,新潟,2004年7月23日.
- 4) 野田 忠: 食べるの科学.平成16年度全学共通科目「食べる - 楽しく食べる -」,新潟,2004年10月1日.
- 5) 大島 邦子: 口腔の健康と「食べる」.平成16年度全学共通科目「食べる - 楽しく食べる -」,新潟,2004年10月15日.
- 6) 野田 忠,田口 洋: 子どもの『食べる』 - その成育をみつめて -, 新潟大学教養講義『食べる』公開セミナー,新潟,2004年11月27日.
- 7) 野田 忠: 「食べる」まとめ.平成16年度全学共通科目「食べる - 楽しく食べる -」,新潟,2005年1月28日.
- 8) 野田 忠: 子どもの『食べる』.新潟市立興野保育